

厚生保健委員会

健康福祉部福祉総務課

浜松市地域福祉計画策定に伴う実態調査の結果報告について

1 趣 旨

年齢や障害の有無などに関わりなく、誰もが住みなれた地域で自立し安心・安全に暮らせる地域社会づくりに向け、住民、福祉サービス事業者、ボランティアなど様々な福祉活動の担い手、行政などが連携・協力して取り組む活動の指針となる次期地域福祉計画（R6～R10 年度）を策定する際の基礎資料とするための市民アンケート調査の実施結果を報告するもの。

2 調査対象・回収状況

対象者	標本数	有効回収数	有効回収率
市内在住の満20歳以上の人	2,400件	1,007件	42%

3 調査方法等

- ・抽出方法 住民基本台帳から対象者を無作為抽出
- ・基準日 令和4年11月1日現在
- ・調査方法 郵送により実施（自記式）
- ・調査期間 令和4年12月13日～令和4年12月31日

4 調査結果報告書

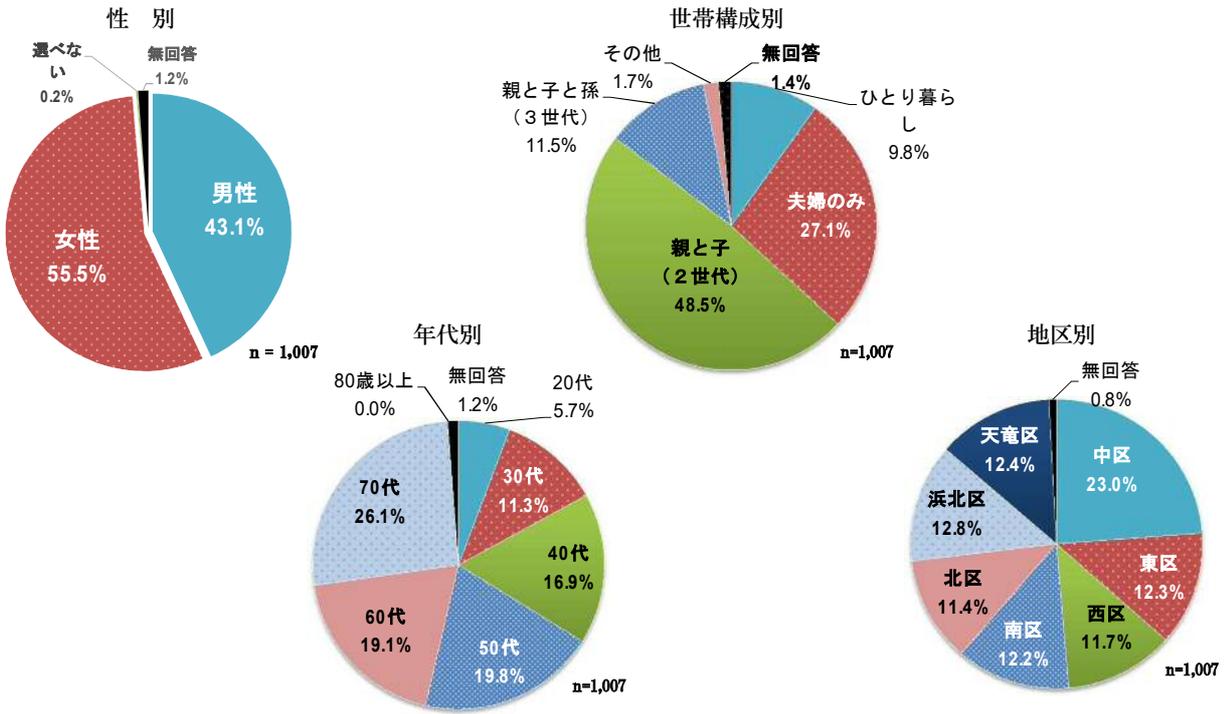
別冊を添付

5 令和5年度計画策定スケジュール（予定）

時期	内容
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回社会福祉審議会地域福祉専門分科会 【審議】策定スケジュール、実態調査の結果 ・<u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】実態調査の結果
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回社会福祉審議会地域福祉専門分科会 【審議】骨子案
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】骨子案
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回社会福祉審議会地域福祉専門分科会 【審議】計画案、パブリック・コメント実施
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】計画案、パブリック・コメント実施
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回社会福祉審議会地域福祉専門分科会 【報告】パブリック・コメント実施 【審議】計画修正案 ・<u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】計画修正案 ・パブリック・コメント結果の公表
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・計画決定・公表

回答者の個人属性 (性別・年代別・世帯構成別、地区別)

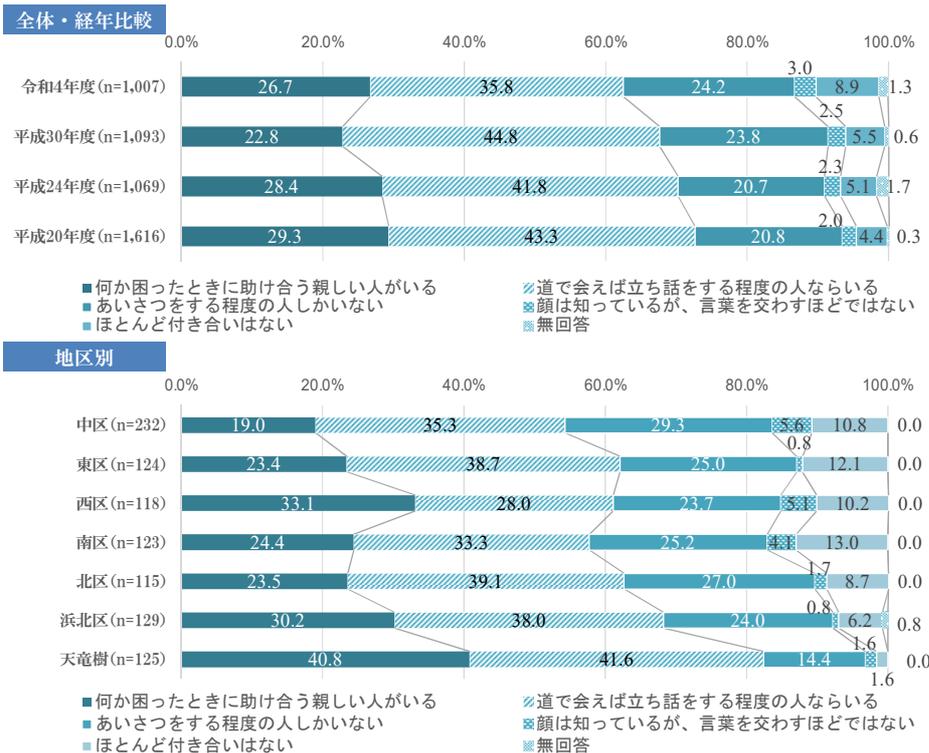
報告書 P3



Copyright © 2023 Hamamatsu City All Rights Reserved.

近所付き合いの程度(単数回答) [問1]

報告書 P7



□近所の人との付き合いの程度では、「道で会えば立ち話をする程度の人ならいる」35.8%が最も多く、以下「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」26.7%、「あいさつをする程度の人しかいない」24.2%などとなっている。

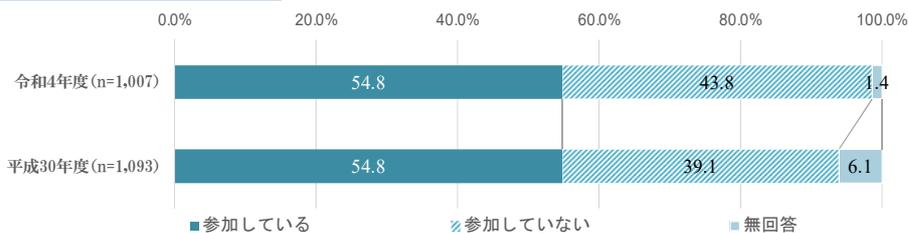
□地区別にみると、全体では「道で会えば立ち話をする程度の人ならいる」が最も多いが、西区では「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」が最も多くなっている。

Copyright © 2023 Hamamatsu City All Rights Reserved.

地域内での行事・活動の参加<単数回答> [問2]

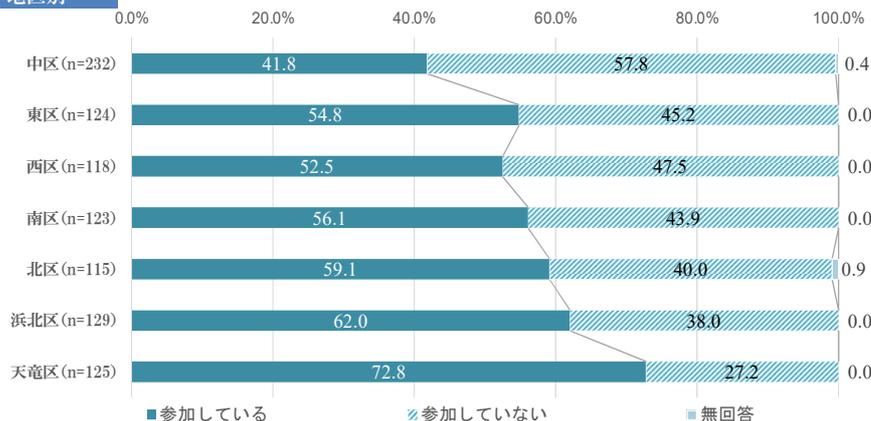
報告書 P10

活動の参加状況（経年比較）



□地域内の行事や活動の参加有無では、「参加している」54.8%、「参加していない」43.8%となっている。

地区別

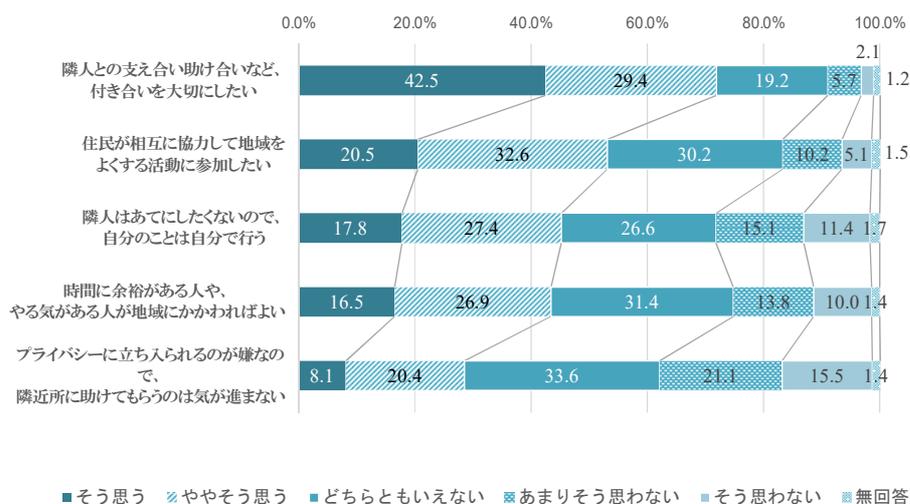


□地区別にみると、全体では「参加している」が多くなっているが、中区では「参加していない」が多くなっている。

地域社会におけるかかわりについて<単数回答> [問3]

報告書 P14

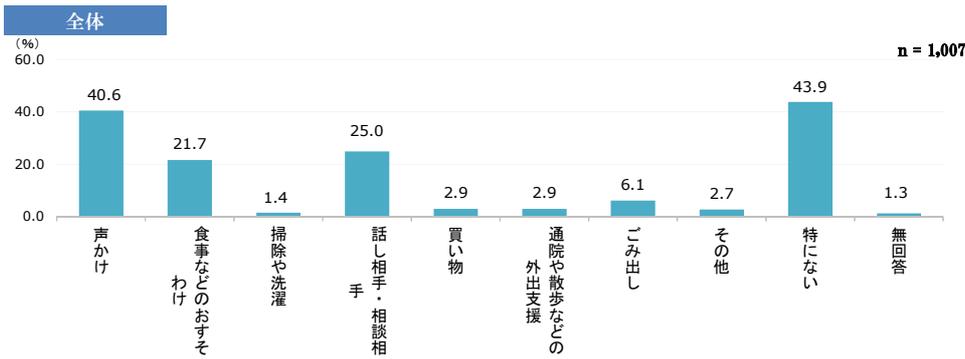
全体



□地域社会におけるかかわりでは、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合は「隣人との支え合い助け合いなど、付き合いを大切にしたい」が71.9%と最も多くなっている。

近所の人へのお手伝い〈複数回答〉 [問4]

報告書 P19



□近所の人に手伝いをした経験では、「声かけ」40.6%が最も多く、以下「話し相手・相談相手」25.0%、「食事などのおすそわけ」21.7%などとなっている。また、「特にない」が43.9%となっている。

□年代別にみると、50代までは「特にない」が最も多く、60代以上は「声かけ」が最も多くなっている。

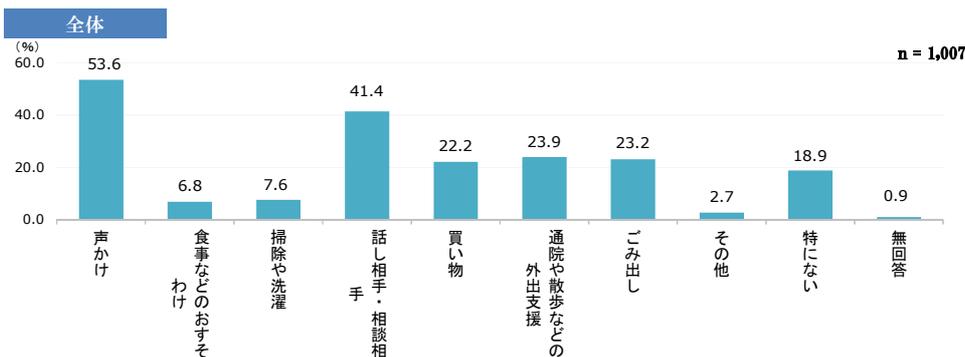
年代別

(%)	声かけ	食事などのおすそわけ	掃除や洗濯	話し相手・相談相手	買い物	通院や散歩などの外出支援	ごみ出し	その他	特にない	無回答
20代 (n=57)	17.5	14.0	0.0	19.3	0.0	0.0	5.3	0.0	68.4	0.0
30代 (n=114)	28.9	14.9	0.0	16.7	2.6	2.6	1.8	1.8	60.5	0.0
40代 (n=170)	30.6	18.2	1.8	17.6	2.4	2.9	3.5	2.4	55.3	1.8
50代 (n=199)	36.7	20.6	1.5	28.1	3.0	3.5	6.5	4.5	45.2	1.0
60代 (n=192)	47.9	26.6	1.0	18.8	3.1	1.0	6.8	1.6	37.5	1.6
70代 (n=263)	54.8	26.6	2.3	35.7	3.0	4.6	8.7	3.0	28.1	1.9

Copyright © 2023 Hamamatsu City All Rights Reserved.

地域でしてほしいこと〈複数回答〉 [問5]

報告書 P22



□自身や家族が高齢化、病気や事故などで日常生活が不自由となった時、地域に求めることでは、「声かけ」53.6%が最も多く、以下「話し相手・相談相手」41.4%、「通院や散歩などの外出支援」23.9%などとなっている。

□年代別にみると、いずれの年代も「声かけ」が5割程度で最も多くなっている。

年代別

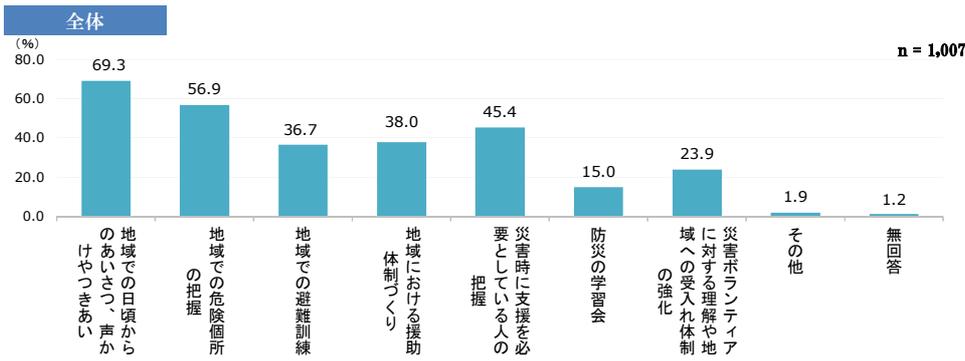
(%)	声かけ	食事などのおすそわけ	掃除や洗濯	話し相手・相談相手	買い物	通院や散歩などの外出支援	ごみ出し	その他	特にない	無回答
20代 (n=57)	49.1	8.8	3.5	42.1	19.3	26.3	15.8	0.0	24.6	0.0
30代 (n=114)	50.9	10.5	13.2	38.6	23.7	29.8	22.8	1.8	21.1	0.9
40代 (n=170)	50.0	5.9	10.0	37.6	27.1	23.5	23.5	2.4	19.4	1.2
50代 (n=199)	54.8	5.0	4.0	44.2	18.6	26.6	18.6	2.5	18.1	0.5
60代 (n=192)	54.2	5.2	4.2	38.0	15.6	22.4	19.8	1.0	22.4	1.0
70代 (n=263)	57.4	7.6	9.9	44.1	26.6	20.2	31.2	2.7	14.8	1.1

Copyright © 2023 Hamamatsu City All Rights Reserved.

災害時の備え<複数回答>

[問6]

報告書 P25



□地域における災害時の備えとして重要だと思うことでは、「地域での日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」69.3%が最も多く、以下「地域での危険箇所の把握」56.9%、「災害時に支援を必要としている人の把握」45.4%などとなっている。

(%)	地域での日頃からのあいさつ、声かけやつきあい	地域での危険箇所の把握	地域での避難訓練	地域における援助体制づくり	災害時に支援を必要としている人の把握	防災の学習会	災害ボランティアに対する理解や地域への受入れ体制の強化	その他	無回答
20代 (n=57)	36.8	63.2	38.6	50.9	54.4	10.5	22.8	1.8	0.0
30代 (n=114)	57.9	65.8	28.1	38.6	45.6	11.4	27.2	0.9	0.0
40代 (n=170)	58.8	55.9	34.7	40.0	40.0	17.6	27.1	2.9	2.4
50代 (n=199)	71.9	54.3	34.7	33.7	48.7	16.6	25.6	2.5	0.5
60代 (n=192)	75.5	60.4	37.5	41.1	45.3	14.1	18.8	0.5	0.5
70代 (n=263)	81.4	51.0	42.6	35.0	44.1	15.6	22.1	2.3	2.3

□年代別にみると、30代までは「地域での危険箇所の把握」が最も多く、40代以上は「地域での日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」が最も多くなっている。

日々の生活での困りごと・悩み<複数回答>

[問7]

報告書 P28



□日々の生活で困っていることや悩みでは、「健康のこと」24.2%が最も多く、以下「経済的なこと」17.9%、「災害等緊急時の対応のこと」12.3%などとなっている。また、「特になし」が39.9%となっている。

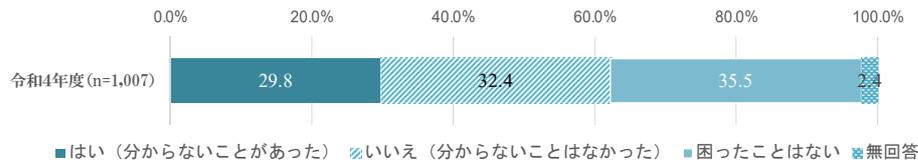
(%)	子育てのこと	健康のこと	介護のこと	住まいのこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいのこと	防犯や交通安全などのこと	災害時緊急時の対応のこと	認知症のこと	移動手段のこと	家事・片づけのこと	その他	特になし	無回答
20代 (n=57)	3.5	17.5	0.0	8.8	24.6	26.3	5.3	5.3	5.3	1.8	8.8	1.8	3.5	42.1	0.0
30代 (n=114)	23.7	21.1	7.9	15.8	24.6	23.7	5.3	11.4	13.2	6.1	7.0	4.4	2.6	31.6	0.9
40代 (n=170)	18.8	18.2	13.5	10.0	14.1	24.1	5.9	11.2	10.6	4.1	5.3	7.6	2.9	34.1	1.2
50代 (n=199)	6.0	24.6	13.1	13.6	15.1	17.6	4.5	7.5	7.5	4.5	4.0	3.5	3.5	39.2	2.0
60代 (n=192)	0.5	25.0	10.9	8.3	3.6	12.0	3.6	6.3	14.6	5.2	3.6	1.0	2.6	43.2	1.6
70代 (n=263)	0.0	30.0	9.9	4.6	3.0	13.7	4.9	6.1	16.7	9.5	5.3	3.8	0.4	45.6	3.0

□年代別にみると、「特になし」を除いて、20代及び40代では「経済的なこと」、30代では「仕事のこと」、50代以上では「健康のこと」がそれぞれ多くなっている。

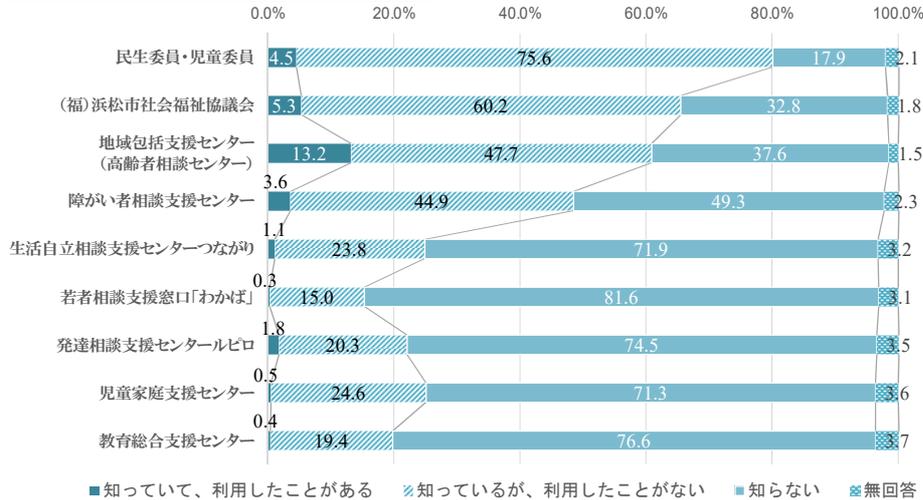
困ったときの相談先〈単数回答〉 [問8、問9]

報告書 P31

相談先が分からないことがあったか (問8)



知っている相談先 (問9)



□ 日々の生活で困った時に、どこに相談すればいいか分からないことがあったかは、「はい (分らないことがあった)」29.8%、「いいえ (分らないことはなかった)」32.4%、「困ったことはない」35.5%となっている。

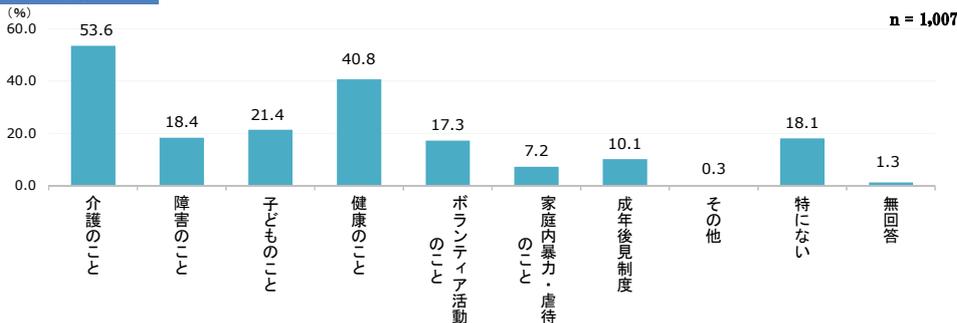
□ 困った時の相談先として知っている機関団体では、「地域包括支援センター (高齢者相談センター)」で「知っていて、利用したことがある」が最も多くなっている。また、「民生委員・児童委員」で「知っているが、利用したことがない」が最も多くなっている。

□ 一方、「若者相談支援窓口『わかば』」で「知らない」が最も多くなっている。

関心のある福祉〈複数回答〉 [問10]

報告書 P42

全体



年代別

年代別 (%)	介護のこと	障害のこと	子どものこと	健康のこと	ボランティア活動のこと	家庭内暴力・虐待のこと	成年後見制度	その他	特にない	無回答
20代 (n=57)	40.4	33.3	29.8	35.1	12.3	15.8	10.5	0.0	17.5	1.8
30代 (n=114)	36.8	19.3	57.0	40.4	14.9	14.0	9.6	0.9	14.0	0.0
40代 (n=170)	51.8	19.4	41.8	23.5	20.0	10.0	10.6	0.0	19.4	1.2
50代 (n=199)	55.8	21.1	15.1	37.2	16.6	7.0	14.1	0.0	20.6	2.0
60代 (n=192)	58.3	16.7	9.4	42.7	16.7	3.6	8.3	0.5	18.2	1.0
70代 (n=263)	59.3	12.5	4.9	54.0	18.6	3.8	8.7	0.4	17.5	1.5

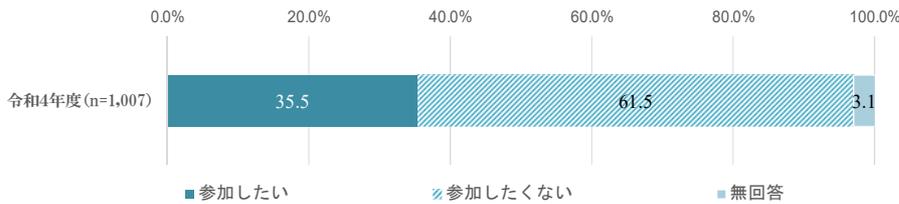
□ 福祉について関心を持っていることでは、「介護のこと」53.6%が最も多く、以下「健康のこと」40.8%、「子どものこと」21.4%などとなっている。

□ 年代別にみると、30代では「子どものこと」が57.0%と最も多くなっており、その他の年代では「介護のこと」が最も多くなっている。

ボランティアへの参加意向<単数回答> [問11] <複数回答> [問11-1]

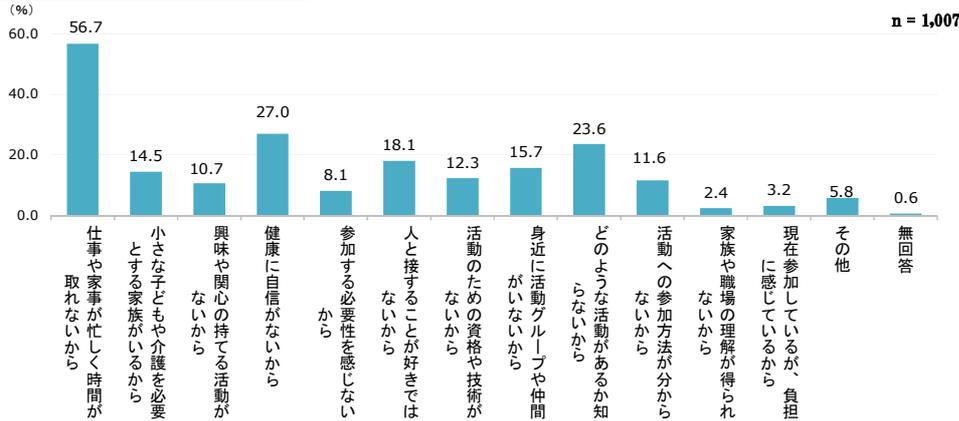
報告書 P44

ボランティア活動への参加意向



□地域のボランティア活動へ今後の参加意向では、「参加したい」35.5%、「参加したくない」61.5%となっている。

参加したくない理由

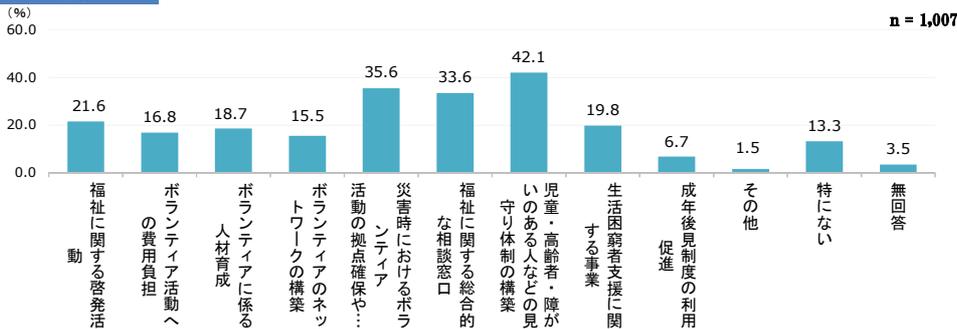


□今後ボランティア活動に参加したくない理由では、「仕事や家事が忙しく時間が取れないから」56.7%が最も多く、以下「健康に自信がないから」27.0%、「どのような活動があるかわからないから」23.6%などとなっている。

社会福祉協議会に力を入れてほしい活動<複数回答> [問12]

報告書 P49

全体



□（福）浜松市社会福祉協議会が行う活動の内、今後も力を入れてほしい活動では、「児童・高齢者・障がいのある人などの見守り体制の構築」42.1%が最も多く、以下「災害時におけるボランティア活動の拠点確保や各種支援活動」35.6%、「福祉に関する総合的な相談窓口」33.6%などとなっている。

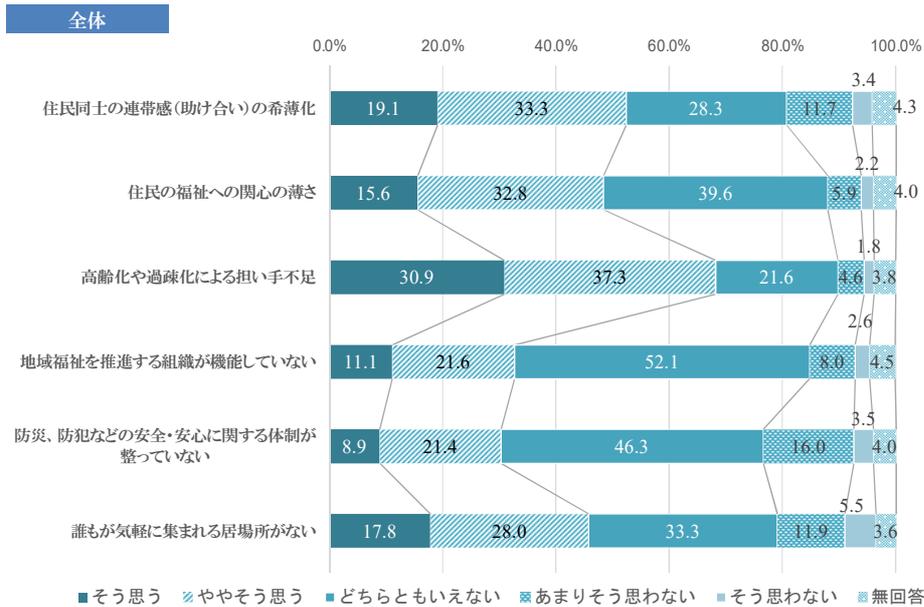
年代別

年代別 (%)	福祉に関する啓発活動	ボランティア活動への費用負担	ボランティア活動に係る人材育成	ボランティアに係るネットワークの構築	活動の拠点確保やボランティア	災害時におけるボランティアに関する総合的な相談窓口	福祉に関する総合的な相談窓口	児童・高齢者・障がいのある人などの見守り体制の構築	生活困窮者支援に関する事業	成年後見制度の利用促進	その他	特にない	無回答
20代 (n=57)	17.5	21.1	12.3	15.8	40.4	26.3	54.4	29.8	14.0	0.0	12.3	0.0	
30代 (n=114)	17.5	18.4	14.9	19.3	41.2	30.7	46.5	14.9	8.8	0.0	17.5	1.8	
40代 (n=170)	15.3	18.8	15.9	20.3	35.3	30.0	45.9	20.6	7.6	1.8	16.5	1.2	
50代 (n=199)	27.1	17.1	16.1	18.1	34.7	39.7	47.7	19.6	6.0	1.0	11.1	3.0	
60代 (n=192)	22.9	19.3	27.1	15.6	35.4	39.1	33.9	22.4	5.2	1.6	11.5	1.6	
70代 (n=263)	23.6	12.5	19.8	8.7	33.5	29.3	37.6	17.1	4.9	2.7	12.9	7.2	

□年代別にみると、60代では「福祉に関する総合的な相談窓口」が39.1%と最も多くなっており、その他の年代では「児童・高齢者・障がいのある人などの見守り体制の構築」が最も多くなっている。

住まいの地域における問題点〈単数回答〉 [問13]

報告書 P52

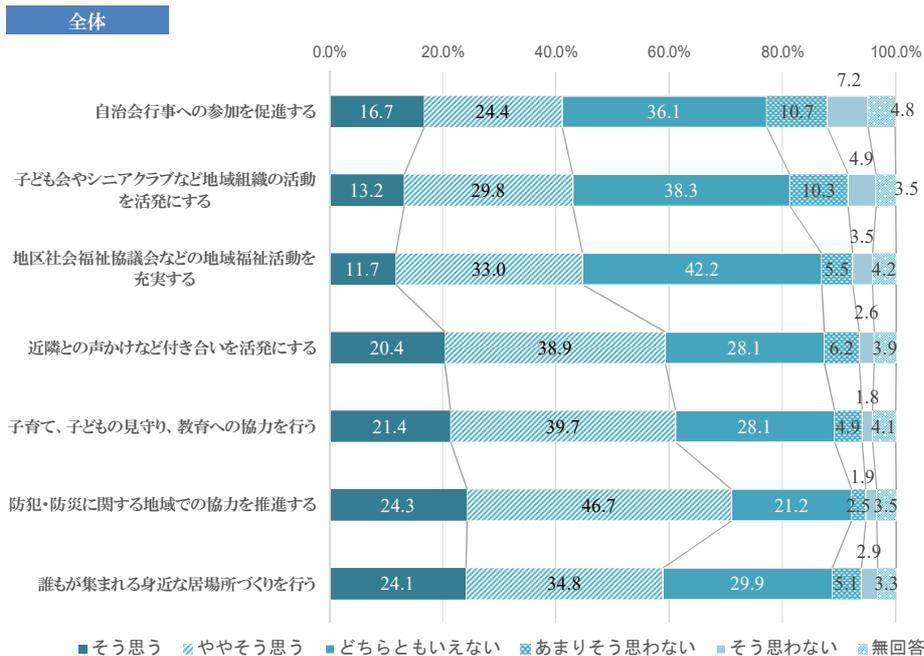


□住まいの地域における問題点では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合は「高齢化や過疎化による担い手不足」68.2%が最も多く、以下「住民同士の連帯感(助け合い)の希薄化」52.4%、「住民の福祉への関心の薄さ」48.4%などとなっている。

Copyright © 2023 Hamamatsu City All Rights Reserved.

地域住民が力を入れるべき取組み〈単数回答〉 [問14]

報告書 P58

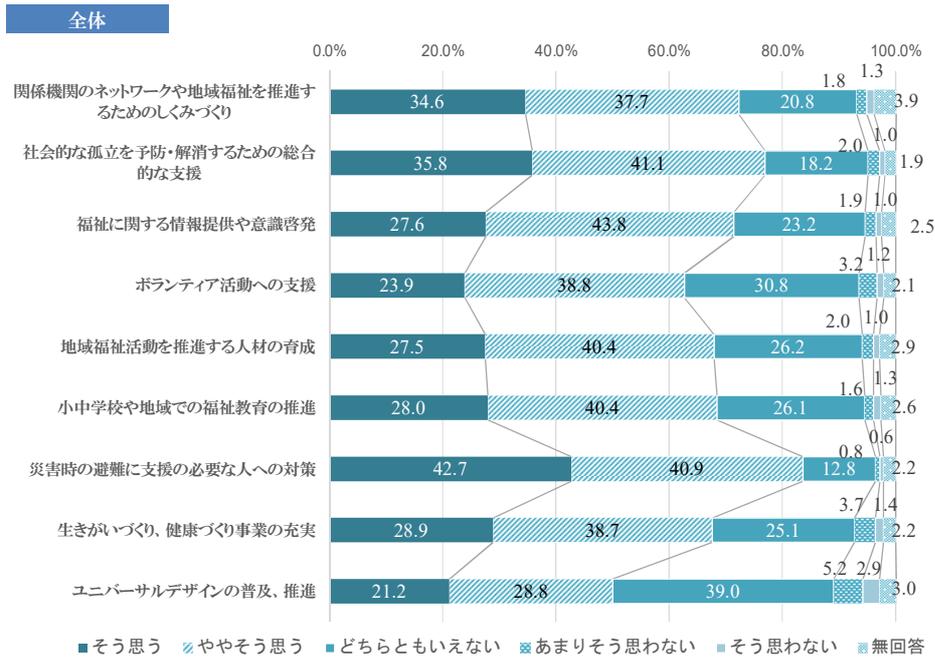


□地域住民の支え合いをはぐくむために、地域住民が力を入れるべき取組みでは、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合は「防犯・防災に関する地域での協力を推進する」71.0%が最も多く、以下「子育て、子どもの見守り、教育への協力を行う」61.1%、「近隣との声かけなど付き合いを活発にする」61.1%、「誰もが集まれる身近な居場所づくりを行う」ともに58.9%などとなっている。

Copyright © 2023 Hamamatsu City All Rights Reserved.

浜松市が力を入れるべき点〈単数回答〉 [問15]

報告書 P65



□ 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の福祉を充実させていく上で、浜松市が力を入れるべき点では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合は「災害時の避難に支援の必要な人への対策」83.6%が最も多く、以下「社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援」76.9%、「関係機関のネットワークや地域福祉を推進するためのしくみづくり」72.3%などとなっている。